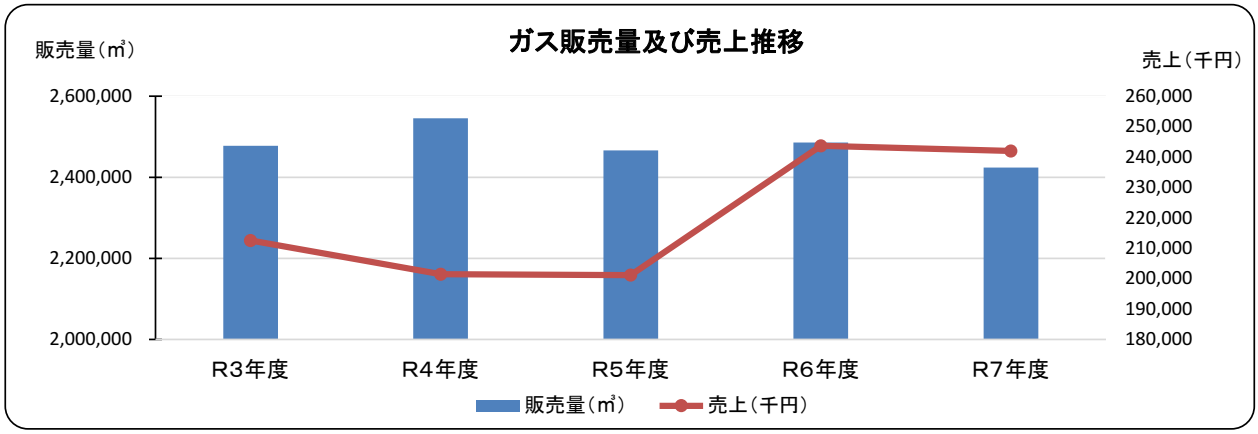
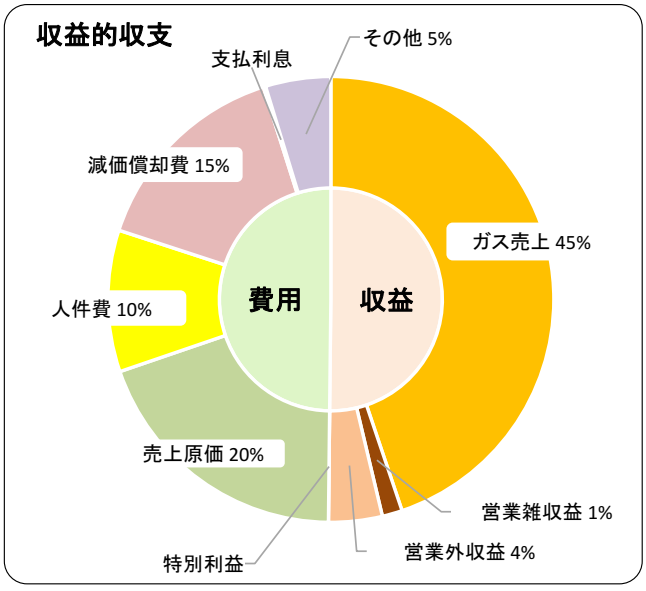
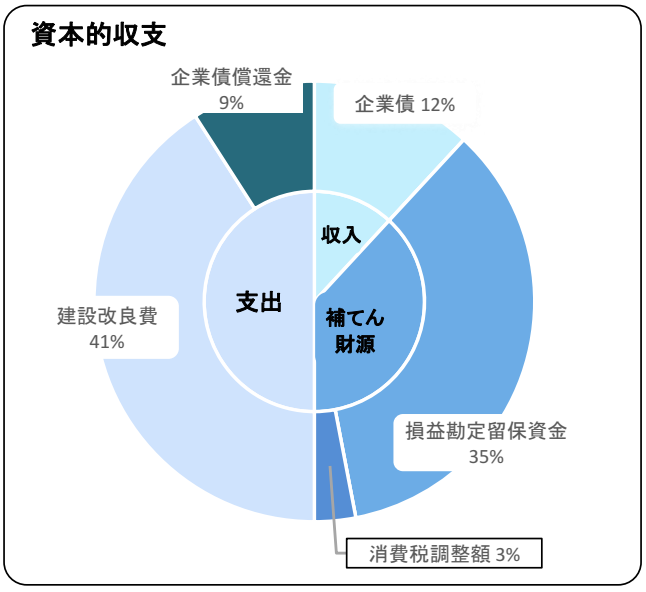
令和7年度白子町ガス事業特別会計決算概要

事　　業	概　　要
・ 年度末需要家件数　2,855件【年間累計数：34,329件】	（対前年度 9件減少、年間累計 100件減少）
・ ガス販売量（9,200kcal）　2,424,047㎥	（対前年度 61,381㎥減少）
・ ガス導管延長　120,604.9m	（対前年度増減なし）
・ 供給管本数　3,337本	（対前年度 9本増加）



収　　支	予算額（A）千円	決算額（B）千円	増減額（B）−（A）	対前年度比（%）
収益的収支（税抜）				
ガス事業収益	290,399	270,838	▲ 19,561	97.0%
ガス事業費用	292,085	268,960	▲ 23,125	100.6%
当年度純利益（▲損失）	—	1,878	—	▲ 15.9%
前年度繰越利益剰余金	—	881	—	8.1%
その他未処分利益剰余金変動額	—	0	—	—
当年度未処分利益剰余金（▲未処理欠損金）	—	2,759	—	213.2%
資本的収支（税込）				
資本的収入	47,601	32,600	▲ 15,001	267.2%
資本的支出	178,960	137,325	▲ 41,635	162.7%
差引不足額	—	104,725	—	145.1%





収　支　概　要

収益的収支（税抜）の収益からは、主にガス売上 241,972千円（前年度比 99．3%）の減少要因となった温暖化に伴うガス販売需要の減少および営業外収益 20,988千円（前年度比 72.4%）における電気・ガス料金負担軽減支援事業の規模縮小の影響が大きく、総収益は 270,838千円（前年度比 97.0%）でありました。

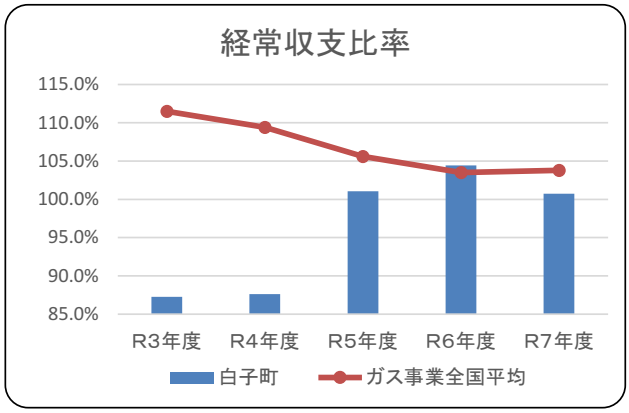
また、支出では、物価高騰に伴う影響から売上原価 105,683千円（前年度比 101.4%）および人件費 55,452千円（前年度比 108.3%）増加の影響もあり、ガス事業費用は 268,960千円（前年度比 100.6%）となりました。

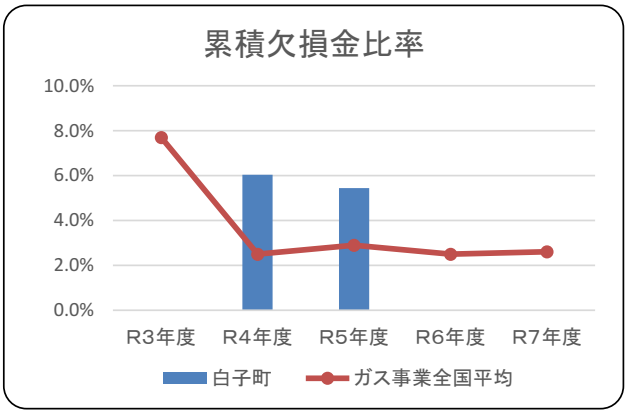
以上より、当年度純利益 1,878千円が生じ、前年度繰越利益剰余金 881千円を加えた当年度未処分利益剰余金 2,759千円を中東情勢等の不安定化を受け、社会情勢の先行き不透明感が高いことを踏まえ、全額を繰越利益剰余金とする剰余金処分案を議会に提出しました。

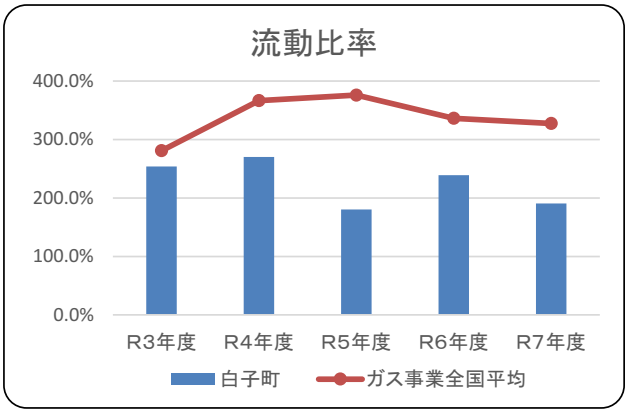
資本的収支（税込）からは、資本的収入にて地方公共団体金融機構から借り入れた企業債収入 32,600千円（前年度比 267.2%）のみで、対する資本的支出は、最優先課題である安全安定供給に向けた経年管の入替えを進め 129,039千円（前年度比 160.3%）であったため、発生する不足額 104,725千円を消費税資本的収支調整額 8,285千円及び損益勘定留保資金 96,440千円で補てんしました。

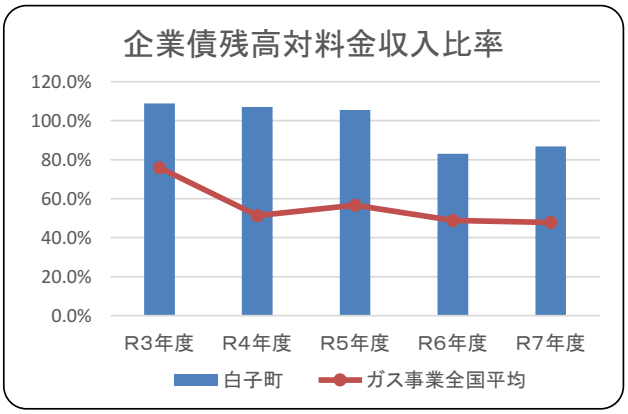
剰余金処分	減債積立金	利益積立金	建設改良積立金	未処分利益剰余金（▲未処理欠損金）
R7年度期首残高（A）	13,250千円	0千円	49,379千円	880千円
当年度純利益（▲損失）	―	―	―	1,879千円
当年度剰余金変動額（B）	0千円	0千円	0千円	0千円
R7年度期末残高（A）-（B）	13,250千円	0千円	49,379千円	2,759千円

財務分析指標









経営健全化判断比率

公営企業法の有無	算　　式	経営健全化基準	資　金　不　足　比　率
有	（流動負債+建設改良に充てる企業債-流動資産）/（営業収益-受注工事収益）*100	20.0%	―

※　算出されない場合は「－」表示